

日本婚姻平權運動的進程與阻力

鈴木 賢

明治大學法律系教授

剛啟動由看不見模式 向權利保障模式的歷史轉變

- 看不見模式：於政治法律行政等公共領域裡，同志族群完全被忽視，似乎不存在一樣被對待。沒有任何一部法律針對同性伴侶做出明文規定。
- 同運界一直以來並沒明確提出以同性婚姻法制化為目標：傾向於反對婚姻霸權地位，主張家庭多元化。
- 轉變：2015年11月，東京澀谷區與世田谷區建立同性伴侶宣誓證明制度，廣泛引發對婚姻平權的社會關心，也改變了同運界的想法與策略。

推動婚姻平權的四條途徑

1 啟動“地方包圍中央”策略

地方政府建立同性伴侶證明制度

2 提起同性伴侶權益相關之訴訟

外籍同性伴侶的居留權，損壞伴侶關係損害賠償，同性伴侶請求犯罪被害者家族補償等

3 向各地方法院同時提起同婚訴訟（憲法訴訟）

2019年2月14日 全國同時起訴

4 推動國會立法

在野黨提交修正民法法案

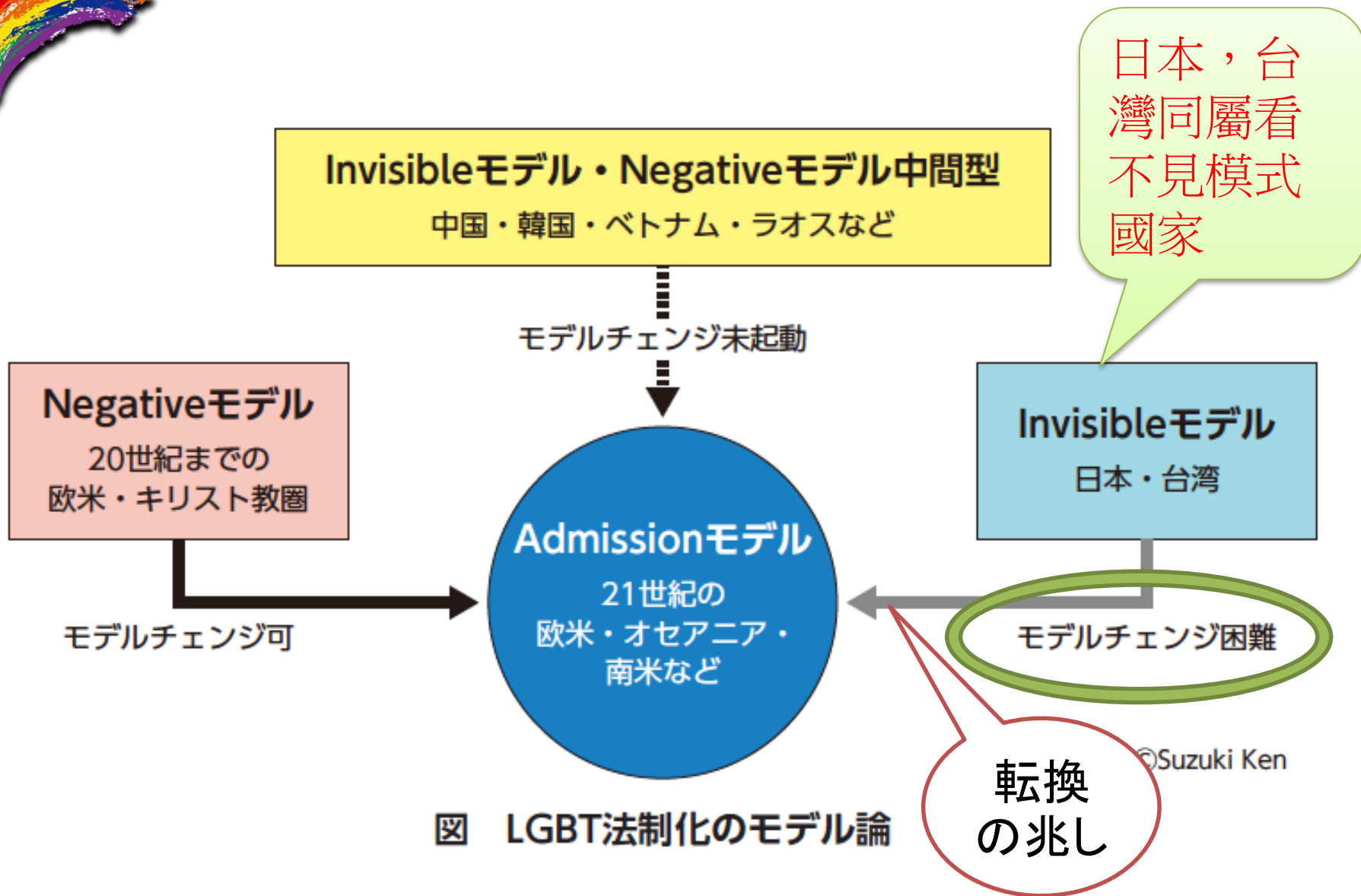


図 LGBT法制化のモデル論



鎮壓模式國家法制轉型的路徑

同性戀去病例化

第1段階

同性間性行為的除罪化

第2段階

禁止基於性傾向的歧視

第3段階

認可對同性伴侶的法律保障

難於啟動保障同志權益法制的形成

看不見模
式國家難
於啟動這
一階段

世田谷区 同性伴侶証明制度





地方政府的同性伴侶證明制度

骨牌效應式的擴大中

2019年

LGBT元年

2015～16年

2017年

2018年

2015
渋谷区
(11月)
世田谷区
(11月)

2015
伊賀
那覇

2016
宝塚

札幌

福岡
大阪
中野区

大泉町 1月
千葉市
江戸川区 4月
豊島区
府中市
横須賀市
小田原市
堺市
枚方市
総社市
熊本市
鹿沼市 6月
宮崎市
茨城県 7月
北九州市
長崎市 9月
西尾市
三田市 10月

目前27個地方政府導入

自治体のパートナーシップ制度

26 自治体
合計
617 組

※2019年10月11日から兵庫県三田市が開始。



2019年10月8日 虹色ダイバーシティ調べ

presented by **MIZUHO** みずほフィナンシャルグループ



兩種法律婚姻

民法婚姻

完整的法律婚姻

限定於男女之間

事實上的婚姻

根據生活的實際給予
必要的保護
承認部分婚姻效果

可擴延伸到同性之間

有些現行法律規定「配偶（含沒正式辦理登記手續的事實上婚姻關係者）」

同性パートナーに「配偶者」の福利厚生

「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングは、社員の同性パートナーを配偶者として認め、福利厚生面で異性のパートナーと同様に扱う制度を導入する。国内のグループ社員約6万人が対象で、早ければ12月にも実施する。

同社のパートナーシップ登録書に記入し、配偶者として会社届け出ると、家族向けの社宅の入居、慶弔見舞金の支払い、6日間の結婚休暇

「ユニクロ」が制度化

取得などの対象になる。これまでも社員からの申し出があれば同様の対応をとってきたが、今後は社内規定に盛り込むなどして制度化する。

コーポレート広報部の担当者は「グローバルカンパニーとして社員の背景を理解し、全ての社員が安心して長く働ける環境をつくりたい」と話している。

同種の制度は日本IBMや楽天などが導入している。

(棚橋咲月)

部分企業内部福利措施平等適用於同性伴侶

例如 資生堂，松下電器，樂天，優衣庫，雅虎，NTT等



台灣籍同性伴侶居留權訴訟 判決前獲得合法居留簽證 2019.3.15



同運界進行募款 支持訴訟



同性パートナーにも
異性同士と同じく
在留特別許可を

首例對同性事實婚姻承認法律保障



同性伴侶關係損壞賠償訴訟



宇都宮地方法院真岡分院判決

2019年8月5日

要旨1 法律上保護的必要性

- 因社會呈現價值觀及生活型態的多樣化，難於斷言婚姻一定要限定於男女之間。
- 世界上增加認可同性間婚姻的國家。
- 日本國內也有些地方政府開放同性伴侶登記。
- 考慮到如上社會情勢，對於同性伴侶給予一定的法律保障，有很高的必要性。

判決要旨2 關於憲法24條

憲法24條規定為“婚姻成立於僅兩性之間的合意之上”，說明制定憲法之際，並沒考慮同性之間的婚姻而已，不能解釋為這條否定同性婚姻的意思。因此同性婚姻不可認為違背於憲法。

同婚訴訟 至五所地方法院

2019.2.14



札幌
東京
名古屋
大阪
福岡

來自保守勢力的阻力

- 最大的阻力來自執政黨（自民黨）核心勢力。
- 執政黨反對同婚的理由：
 - 1 可否同婚會涉及到家庭制度的核心，需要加以審慎考慮。
 - 2 婚姻制度傳統上以生育下一代為主要功能，不適合同性之間的關係。
 - 3 同性婚姻法制化會導致傳統家庭的瓦解。

未來展望

- 期待透過提起各種司法訴訟與擴散地方政府同性伴侶宣誓證明制度，逐漸擴大事實上的婚姻法律效果。開始填補法律空白。
- 對自民黨議員積極進行遊說活動及推動社會大眾對同志加深理解並更多人支持婚姻平權，可期盼慢慢改變自民黨主體對同婚的想法。